
R A B B I T M O N S T E R

ぷらむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

R A B B I T M O N S T E R

【Nコード】

N 2 3 4 0 V

【作者名】

ぷらむ

【あらすじ】

「人助け」の仕事をしているオリアとヴィナ。だけど仕事先でいろんなことに巻き込まれる！

民の願いを受け入れる。
それが我の生き甲斐なり。
それを邪魔する者あらば、全力でそれを排除しよう。
すべては民の願いのために。

埃臭く汚い道、違法な薬物を売る店、地面を這いずる中毒者。
よそからきた人間はここを「最悪な街」と呼んでいる。
本当、そう思う。

生まれ育ったこの街はずっと前から汚れてた。いまさら変えようという気さえ起きない。

デニムのジーンズのポケットを私は探る。お、いいもの入ってた。その「いいもの」を私は取り出した。ガムだ。

ガムを口に入れくちやくちや噛んでいると、向こうからなんかが聞こえてきた。

はつきり言って、「うるさい」騒ぎだ。

私はうるさいのが嫌いだ。だからなるべくイベントなどには近づかないようにしている。

でも、今日はどうしてもこの道を通らなくてはいけない。

ここが一番「あの場所」の近道だからだ。

わたしは長く歩くのは好きじゃない。

めんどくさいけど…

パークのフードを深く被る。

そして騒ぎをおこしている男たちの前を通り過ぎた。

「ああ！？なんだ餓鬼イ！」

当たり前だけど目をつけられる。まったく本当にめんどくさい。
無視する私を見て、よけいに苛立ったのか（当たり前だけど、）片手に鉄パイプを持って…

振り上げた。私めがけて。

だけど、男の手は私の頭寸前で止まった。

私が少女だからためらいが生まれたんではないのかって？

それは違う。この人間は赤子だろうが女だろうが問答無用にたたきつぶす。そんな奴らだ。

では何で止まったかというところ：私が止めたから。

鉄パイプを握って渾身の力を込めて、下に振りおろそうとする手を私は軽々と止めていた。

全然重くない。これは強がりではない。事実だ。

男の額に汗が浮かび出ても、私の額には出ていない。

周りの人間がざわめく。

「ラビット…モンスター…？」

ラビットモンスター。私はこの街でそう呼ばれている。

由来はウサギのように美しいのに怪獣のように強いから：だそうだ。まったく、ふざけた異名だ。それを考えた作者に文句を言いたい。

本当はちゃんとした名前があるらしいのだが、私は忘れた。

私に限らず、名前を忘れた人間は多いと思う。

男はついに諦めた。肩を上下させている。相当お疲れのようだ。

「ハア…ハアッ…覚えとけよ！」

お決まりの負け犬ゼリフを吐いて男は逃げて行った。

風が吹いてきた。フードがめくれてしまう。

早く「あの場所」へ行かなきゃな。

人間たちの注目を浴びながら「あの場所」へ私は歩いて行った。

目的の場所へ着いた。そう、あの場所とは…教会だ。

教会の扉をあける。人影があった。

「遅いぞ」

「ごめん」

短い会話を済ませ、私たちは椅子に座った。

遅いぞと言った人は私のただ一人の仲間だ。

こいつも本来の名前を忘れているらしい。

だから、私たちは仮に名前をつけあって呼んでいる。

ちなみに私は「オリア」もう一人の仲間は「ヴィナ」

ヴィナは女だ。あと確認のため言っとくけど、私も女だ。

二人とも美人らしい。

私たちはある仕事をしている。

人助けの仕事。

頼まれたら引き受けて、それを成し遂げると報酬がもらえる。
しかし、頼みごとと報酬がつりあってなければ引き受けない。

私たちはそうやって命をなんとかつないできた。

説明はこれで終わり。

また次回で逢いましょう。

こんどはちゃんと仕事するよ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2340v/>

R A B B I T M O N S T E R

2011年10月9日10時22分発行